

災害-68	墜落・転落	右鎖骨遠位端骨折	休業	災害-70	飛来・落下	左中指指尖部損傷	休業	災害-77	墜落・転落	右腹部・胸部打撲、挫傷	不休
24/7/4 (木) 03:40	建築	派遣社員	56歳	24/7/8 (月) 8:25	土木	トンネル工	23歳	24/7/17 (水) 10:40	建築	鷹工	39歳
<p>夜間作業、派遣社員が空調工事の作業終了後に完了写真を撮りに行き、事務所に戻るとき既設事務所鉄骨階段の八段目（高低差1.8m）より足を滑らせ転落した。</p>  <p>この付近から足を滑らせ、足が踏むように前のめり状態で下に落ち正面の窓際を外側の欄干H面に足をぶつけた。</p>				<p>トンネル坑内の排水管(が詰まったため、交換作業をオペレーター(職長)、玉掛け合図者、手元作業員(2名)の合計4名で行っていた。閉塞した管のジョイント①を外し、管を吊り上げて傾けて閉塞を確認、少し吊荷を緩めた状態で既設の管の上に管端部を預けた。合図者と手元作業員1名が反対側のジョイント②を外そうとしたところ、吊っていた管がずれた。ジョイント①にいた被災者は管の端部に手をかけており、管と既設管に指を挟まれた。</p>  <p>吊った管に手を置いていた 被災者 排水管(6インチ) ①ジョイント取り外し箇所 被災者 ②ジョイント箇所</p>				<p>支保工足場解体作業中、足場のブロック縁切りをするため、枠組足場に接続する柱巻の単管足場を1人で解体しに行った。単管足場へ移動したとき、<b>結束を外した足場板の上に乗り、ずれて手摺との隙間から1.9m下部に転落した。</b></p>  <p>この単管足場と隙間しよるとして。 この手摺も外れた。 柱巻足場 ストラロン</p>			
<p><b>事務所階段からの転落災害は今期、すでに2件発生「手すりを持って昇降する」「照明確保、段端に黄色ペイント」</b></p>				<p><b>【原因】</b> 職長のオペの主導のもと作業が進められ、合図無しでブームを動かした。(被災者の手の位置を確認していなかった。)</p>				<p><b>作業主任者が作業状況、安全帯使用を確認していない。</b> <b>低所であっても巻取り式のフルハーネスを着用して、フックは上段の足場に掛けよう！</b></p>			
災害-58	取扱運搬	右薬指屈筋腱の断裂	休業	災害-90	墜落・転落	右踵骨骨折 脱水症	休業	災害-91	墜落・転落	右踵骨骨折	休業
24/7/24 (水) 9:10	建築	土工(一人親方)	44歳	24/7/27 (土) 13:25	建築	サイン工	48歳	24/7/29 (月) 11:30	建築	防水工	50歳
<p>被災者は仮設樋の交換を作業をしていた。塩ビパイプをベビーサンダーで切断し、切断面のバリを取るために小口にベビーサンダーの刃(切断用の刃)の側面を当てていた。その時にベビーサンダーの刃が破損して、破損した刃が被災者の左手甲人差し指根元部分に当たり負傷した。※保護メガネと手袋は着用していた。</p> 				<p>被災者が1階付帯室の柱サインの現場確認をしていた際に、次の小部屋に行こうとしてビット(深さ2.5m)に気がつかずに転落した。(ビット床がフレー色のためフラットな床と錯覚した)</p>  <p>2.5m</p>				<p>地下2階のビット内作業を行って休憩のため、梯子を使ってB1F~1Fへ登っていたところ、安全ブロックの引き寄せ紐が左足とフルハーネスに絡まり、振り解こうとした際、バランスを崩して高さ約2.5mから墜落して右腰を床に打ち付けた。(フックは工具用胴ベルトに掛けていた)</p> 			
<p><b>【原因】</b> 切断用砥石の用途以外の使い方をした。研磨用の砥石を使う！</p>				<p><b>【原因】</b> 前日まで塗床工事のため出入口に表示していた立入禁止を外した時、床端部の危険表示を怠った。</p>				<p>①引き寄せ紐は余分なたるみが無いようにハシゴ足元に結び ②安全ブロックのフックは安全帯のD環等に掛け、両手ははしごを持って昇降！</p>			

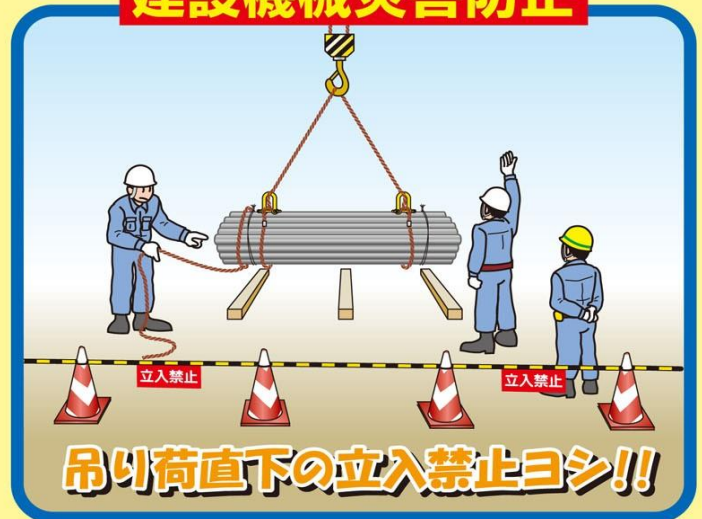
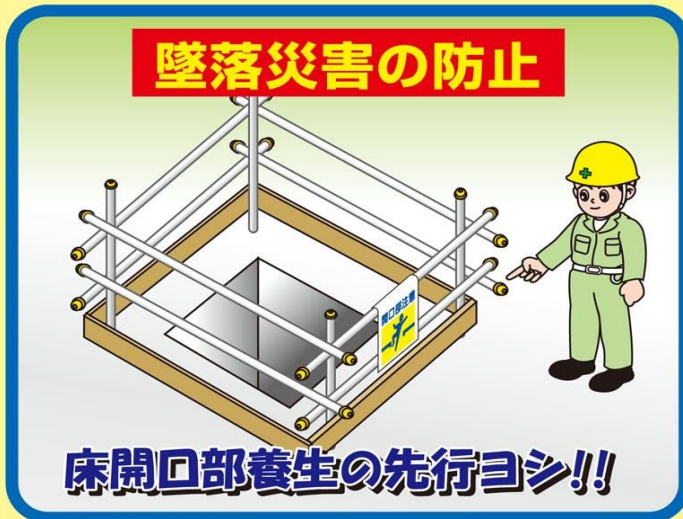
# 類似災害をくり返すな!!

— 心ひとつに —

決めたことを  
決めた通り  
確実に実行!



建設機械災害防止



88期安全衛生スローガン  
「見逃すな危険の兆候 安全確認、高める意識 支える考動」